

# 令和2年度第1回 総合計画



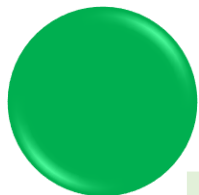
## Yu-Me (ゆめ) 会議

～福島市の総合計画を一緒に考えよう！～

日時：令和2年7月4日（土）

午後1時30分～午後3時30分

会場：コラッセふくしま 4階 多目的ホール



# 開会



**10代から70代までの多世代・多種多様な  
市民の皆さんが参加**

**今年は参加者の分散や開催時間の短縮など「新しい生活様式」に対応した  
形で開催します。**

# 木幡浩 福島市長あいさつ



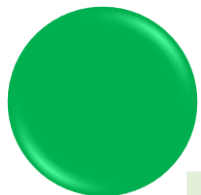
昨年度のYu-Me（ゆめ）会議で皆さんからいただいた意見をしっかり受け止め、新総合計画の将来構想をまとめました。

**「人・まち・自然が奏でる魅力のハーモニー  
未来協奏（共創）都市  
～世界にエールを送るまち 県都ふくしま～」**

また、まちづくり全体を網羅する各施策の根本にあるべき哲学や理念を4つの視点として盛り込みます。

- ① **福島らしさを生かした新ステージの形成**
- ② **持続可能性の実現**
- ③ **多様性の尊重**
- ④ **県都としての責務**

**将来構想や4つの視点をしっかり踏まえながら、  
施策のアイデアをいただけると大変ありがたいです。**



# ワークショップ 講師



**いよいよ対話の場が再開です！**



# これまでのYu-Me会議の振り返り

## ■第1回＝条件なしに未来を語る

まわりからうらやましがられる未来の福島市

## ■第2回＝現状を見つめ直して未来を語る

もっと伸ばしたい「いいない(資源)」は何か  
ぜひ解決したい「うまぐねえ(課題)」は何か

## ■第3回＝選択の時代であることを学び未来を語る「まちづくりシミュレーションゲーム」

## ■第4回＝現状を見つめ直して未来を語る part2

関心のあるテーマごとにグループワーク

## ■第5回＝未来の福島市の「具体的な姿」を語る

福島市の未来の新聞をつくろう



今日のテーマは？

---

より良い福島市にしていくために、  
市役所ではどんなことをやっていくのか、  
市民ができることはどんなことかなどを  
話し合う

**市の総合計画を  
一緒に考えよう！**



# 今日の進め方

- 右の一覧の中から**関心のある施策**を選び、その**施策ブース**に移動。



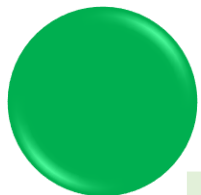
- 移動したら、はじめに**市役所の担当者**から**施策の説明**を聞きます。

- 説明が終わったら**話し合いスタート!**

- ・ 感想や質問
- ・ もっとこうしたら？
- ・ 私にできることは？ など

- これを**2ラウンド**繰り返し。

個別施策シート 一覧			
ブース	個別施策のタイトル	ページ	ポイント(目指す姿)
1	① 子育て支援の充実	1	「子育てするなら福島市」と子育て世代が集まり、子育てを楽しんでいます。
	④ 男女共同参画・人権尊重の推進	15	一人一人がお互いを尊重し、それぞれの個性と能力を発揮していきたいと生活しています。
2	② 学校教育の充実	5	夢と志を持ち、可能性に挑戦する頑張るふくしまっ子の育成。
	③ 学びの環境の充実	11	子どもたちの健やかな成長と学びを支える環境の整備。
3	⑤ 放射線対策の充実	18	毎日の生活において放射線の不安を感じることなく、震災前の生活と変わりなく暮らしています。
	⑨ 健康・医療体制の充実	33	住み慣れた地域において、生涯にわたり健康で安心して暮らし、必要な時に必要な医療サービスが受けられる医療体制が整っています。
4	⑥ 危機管理・防災減災体制の充実	22	災害に対し被害を最小限に抑えるため、すべての世代が被害を未然に防ぐ「強さ」と被災した場合でも迅速に回復できる「しなやかさ」をもち、地域防災の担い手として活躍し、安心して安全に暮らしています。
	⑩ 保健衛生・健康危機管理体制の充実	37	人の命と健康を脅かす感染症や食中毒などの健康危機事象防止のため、日ごろから地域や職場において予防対策を意識した健康づくりを進めるとともに、健康危機事象が発生した場合は、市民、事業者、行政が一体となり、被害を最小限に抑えるための対策に迅速に取り組んでいます。
5	⑦ 消防・救急体制の充実	26	大規模災害等に備えた消防力が充実し、市民や事業者と消防の「救命のリレー」の取り組みが進められ、子どもからお年寄りまでが安心安全で健康に暮らしています。
	⑧ 安心安全な市民生活の確保	30	市民一人一人が地域社会の一員としての自覚を持ち、思いやりにあふれた地域コミュニティづくりを自ら率先して努め、犯罪や事故の起こりにくい地域社会で安心して安全に暮らしています。
6	⑪ 地域福祉の推進と障がいのある人の福祉の充実	40	市民一人一人が地域の中でともに支えあいながら、思いやりのある共生社会で暮らしています。
	⑭ 多文化共生の推進	50	市民一人ひとりが、国籍の違いや多様な言語、文化、習慣があることを認め合い、ともに地域社会の一員として活躍する「多文化共生社会」が実現しています。
7	⑫ 高齢者福祉の充実	43	高齢者が生きがいを持ち、住み慣れた地域において、多様なサービス利用しながら高齢者やその家族を地域全体で支え合い、心豊かに安心して安全に暮らしています。
	⑬ 生涯学習の振興	47	生涯学習を通じた人づくり、つながりづくり、地域づくりが着実に広がっています。
8	⑮ スポーツの振興	53	子どもから高齢者、障がいのある人ない人、外国人、全ての人が、日常的にスポーツに親しみ、人生を楽しく健康でいきいきと、心豊かな生活を送っています。
	⑯ 文化芸術の振興	56	多くの市民が、まちなかで音楽を奏でるなど、日常生活の中で様々な文化芸術に触れ、ゆとりと潤いのある心の豊かな生活を送っています。また、地域住民や関係団体等との連携により、文化財を適切に保護・保存し、後世に継承するとともに、その魅力を幅広く活用した地域づくりに取り組んでいます。
9	⑰ 環境の保全	59	安心安全で豊かな環境を守り、共生を図りながら持続可能なものとして未来へとつなぎ、創出する都市となっています。



# 自己紹介



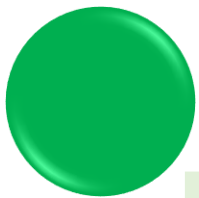
はじめにテーブルごとに自己紹介



# ワークショップスタート！



**それぞれ関心のある個別施策のブースに移動し、市役所の担当者から説明を受けます。**



# ワークショップの様子





# 参加者のみなさんから…



## この施策の通信簿！？

高校生→  
大学生→  
は心印

施策番号	参加ラウンド
	R

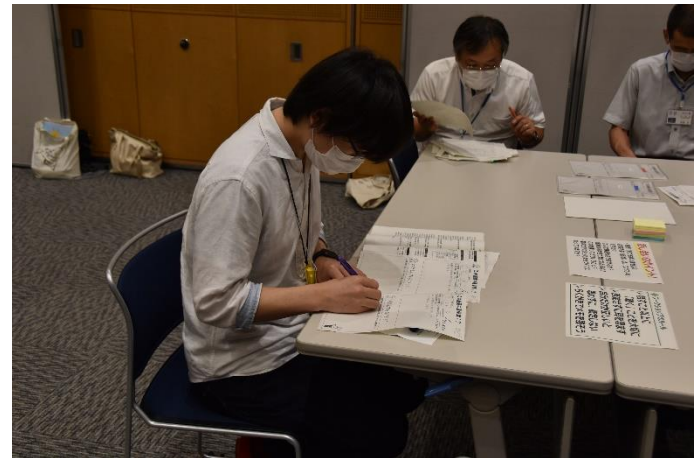
\_\_\_\_\_ / 5点 満点中

この点数をつけた理由や感想、「こうすれば5点に近づくよ!」と思うことなどを、ひと言で簡単にお書きください。



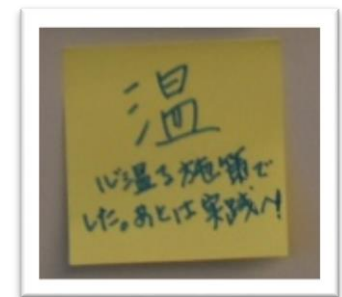
## わたしにできること！？

この施策のために「わたし」ができることを、ひと言で簡単にお書きください。



もっとこうしたら？これはどういうこと？  
わたしにできることは…

# 今日の振り返り



最初のテーブルに戻って、今日の感想を紹介したり、恒例となった今日の対話の感想を「漢字一文字」でふせんに書いて発表し合いました。

# 今後のスケジュール

日時	内容 & 会場
第2回【B班】 <b>8月10日（月・祝）</b> 午後1時30分～3時30分	○ワークショップ <b>会場   コラッセふくしま</b> <b>4階 多目的ホール</b>
第3回【A班+B班】 <b>9月6日（日）</b> 午後1時30分～3時30分	○ワークショップ <b>会場   コラッセふくしま</b> <b>4階 多目的ホール</b>

次回もよろしくお願ひします！

